

【学校評価アンケートに係る考察】

【評価基準 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する】										
		評価項目 (4段階で評価)	生 徒	保 護 者	教 職 員	考 察 等 (◆は改善、今後の方向性)			自 己 評 価	協 議 会 評 価
確 か な 学 力 の 定 着	豊 か な 心 の 醸 成	た く ま し く 生 き る 力 の 育 成	家 庭 ・ 地 域 と の 連 携							
			1	授業改善による「わかる授業」の展開	3.6	3.3	3.0	○ 生徒は、授業が楽しく分かりやすいと感じている割合が高いが、教師はさらにわかりやすい授業をめざし、授業改善に努めたいと感じている割合が高いので、今後も引き続き生徒の学習意欲を高められるよう改善に努めていく。	3	3
			2	話し合い活動を取り入れた授業・ICT機器を活用した授業	3.7	3.8	3.3	○ 生徒は、授業でタブレットを使用したり、話し合い活動をしたりしていると感じている割合が高いが、教師は「だいたいそう思う」と感じている割合が高い。今後も、必要に応じて、話し合い活動やタブレット等の機器は取り入れていく。	4	4
			3	家庭学習を充実させる具体的な手立ての指導	3.5	3.2	3.2	○ 生徒は、宅習や課題等で家庭学習は充実していると感じている割合が高いが、教師は、具体的な手立ての指導については、「だいたいそう思う」と感じている割合が高い。 ◆ さらに家庭学習が充実するように、個別の指導や見届けを大切にしていく。	3	3
			4	読書活動の推進	2.9	3.2	3.2	◆ 生徒は、読書に親しみ、読書量が増えたと感じている割合が、特に2、3年生で低くなっている。生徒が読書に親しむような活動を行っていくとともに、朝読書の時間を増やすことも検討していく。また、ひなた電子図書館について利用の啓発を行う。	2	3
			5	あいさつや言葉遣いの指導	3.5	3.5	3.3	○ ほとんどの生徒が元気なあいさつができるが、言葉遣いに関しては今後も指導が必要である。質問項目を「元気なあいさつや前向きな言葉かけや態度ができますか」と変更し、更に質の向上を図る。	3	3
			6	生徒会活動やボランティア活動等を通じた自主性・主体性の育成	3.6	3.7	3.1	○ 生徒の主体性を育むため、校則検討委員会を発足し、自分たちで校則の見直しを行うなど自治的な活動ができるようになった。今後も、学校生活のあらゆる場面で生徒の自主性・主体性を育む教育活動を展開していきたい。	3	3
			7	学校行事、委員会活動等を通じた達成感を持たせる指導	3.8	3.7	3.3	○ 実行委員会を組織し企画・運営をさせることによって、自分たちの力で行事を成功させる喜びを味わわせることができた。 ◆ 生徒数の減少に応じて、学校行事の在り方を改めて考える必要がある。	3	3
			8	道徳等を通じた思いやりの気持ちや差別しない心の育成	3.8	3.5	3.5	○ 生徒は道徳等の授業を通して、人を思いやる、命を大切にするなどの意識が高まっていると感じている割合が高い。継続して、道徳の授業も進めていく。	3	4
			9	将来の夢や目標を育むキャリア教育の充実	3.1	3.6	3.1	◆ ひなた場や職場体験等の行事があったため、キャリア教育が充実しているように感じる保護者の割合が高いと思われる。将来の夢や目標がもてるようになったと感じている生徒の割合は低いので、全教育活動で3年間を見通した計画的なキャリア教育の充実が必要である。	3	3
			10	避難訓練等の安全教育を通して安全意識の高揚	3.7	3.6	3.5	◆ 避難訓練において、場に応じた命を守るための避難の在り方をしっかりと身につけさせる。また生徒自身の安全意識が高まるように日常的な活動(安全点検)を行う必要がある。	3	3
			11	健康に関する情報提供および健康管理の指導	3.5	3.5	3.5	○ 保健室前の掲示物や保健だより、給食だよりで情報の提供を行っている。また、日々の健康状態を把握し、生徒が自分自身の健康について自分で管理できるように努めている。 ◆ 保健の授業で行っているので知識はあるが、その知識を生かすことができているかが課題である。	3	3
			12	学校だよりやホームページ、学級通信等による情報発信	/	3.7	3.7	○ 学校ホームページの更新、学校だより、学級通信、保健だよりの発行は定期的に行われている。緊急の場合は、安心安全メールで情報発信するなど、情報伝達の手段は整備できている。今後とも、現在の取組を継続するとともに、より地域や保護者に伝わるような工夫をしていきたい。	3	4
			13	保護者・地域との連携	/	3.5	3.3	○ PTA活動の運営や地域の村行事等への参加は例年どおり実施できた。 ◆ 職場体験学習の事業所拡大や面接指導で学校運営協議委員との連携を深めていくとともに学校側からのボランティア活動等の相談をしていく。	3	4